



Tokyo Tech

高度人材育成博士フェローシップ
&
殻を破るぞ！
越境型理工系博士人材育成プロジェクト
【合同説明会】

2022年9月14日（水）

1. ご挨拶
2. 高度人材育成博士フェローシップ
3. 越境型理工系博士人材育成プロジェクト
4. 申請方法
5. 質疑応答



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

ご挨拶

神田 学 / Manabu Kanda

副学長（教育運営担当）

殻を破るぞ！越境型理工系博士人材育成プロジェクト 事業統括

博士後期課程学生への支援

東工大 独自支援

つばめ博士学生奨学金

リサーチフェロー制度（科学技術創成研究院、生命理工学院）

東工大基金奨学金



2021年度～

文部科学省

高度人材育成博士フェローシップ

科学技術
振興機構

殻を破るぞ！
越境型理工系博士人材育成プロジェクト

背景

博士後期課程における
経済的不安と将来のキャリアパスが不透明であるため、
博士後期課程への進学率が低下傾向

目的

日本の科学技術・イノベーション創出に資する意思を持つ
優秀な志ある学生が、**経済的負担やキャリア不安を持たず**、
躊躇なく博士に進学し、自身を最大限に生かす
幅広いキャリアを選択できるようにすること



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

高度人材育成博士フェローシップ

織田 哲治 / Tetsuji Orita

学務部 学生支援課

主にお伝えしたいこと

- 経済支援の内容
- 学修プログラムの内容

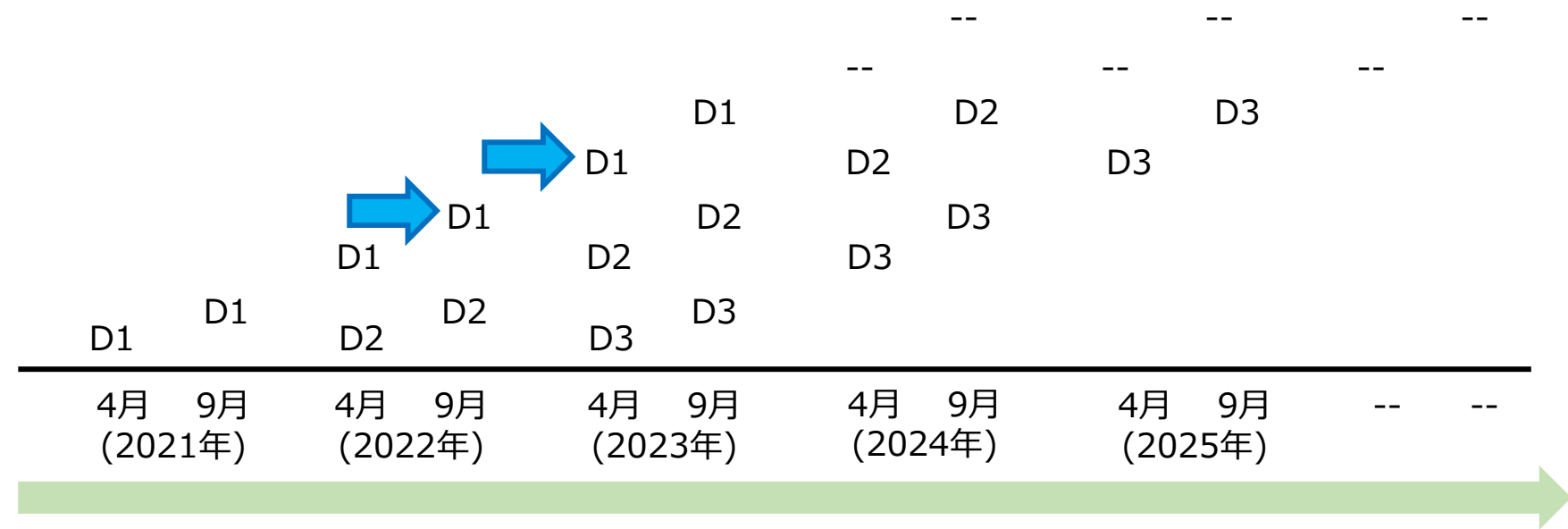
文科省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」

東工大「高度CPS²人材育成フェローシップ」

“CPS²(Cyber Physical & Social Systems)の概念に基づいて、次世代コンピューティングによるスマート社会の実現のための科学技術イノベーション創出を担う博士人材を育成”

高度人材育成博士フェローシップ（経緯）

- 2021年2月 大学フェローシップ創設事業に東工大採択決定（支援人数40名/年）
- 2021年4月 春期フェローシップ学生募集 - 採択者30名決定
- 2021年10月 秋期フェローシップ学生募集 - 採択者10名決定
- 2021年12月 文科省からSPRING事業「越境型プログラム」との運用の一部統合が案内
- 2022年3月 学振特別研究員採択により6名が辞退し、繰上りで新たに6名採択
- 2022年4月 春期フェローシップ学生募集 - 採択者28名決定



- スケジュール

申請（～9月30日（金）正午）



審査（書類審査、フェロローシップ委員会で最終選考）



発表（11月14日）*

- 採択枠

2022年秋採用：12名

2023年春採用：28名

* 2023年春採用については来年4月7日（予定）正式採択となります 10

(支援期間：最長3年間)

- 研究専念支援金

- 生活費相当
- 月額15万円（年額180万円）
- 毎月21日振込（銀行休業日の場合は前日以前で休業日でない直近の日）

- 研究費

- 年額30万円
- 研究室に配分。予算詳細責任者は指導教員
- 使用例：H/W, S/W, 書籍, 機器利用料, 学会出張, 実験材料, など

- 授業料全額免除

フェローシップの実施項目（義務）

- 研究計画を踏まえて研究活動に専念すること
- 学修プログラムの各項目を実施（計画的に）
- 業績報告書、面談報告書を年2回提出（8月末、2月末）
- 学振特別研究員募集に応募する

学修プログラム（１） - 研究力向上 -

- コンソーシアムを通じた研究力向上
 - 所属する学院が指定する研究会やセミナー等に在学中1回以上参加する
- 教育プログラム **科目リスト**
 - 「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」の修了要件に沿って科目を履修
- メンターによる共同指導
 - アカデミックアドバイザー(AA)*制度の中で、主および副AA教員との面談を年に2回以上実施する
 - 基礎研究機構の若手助教との懇談会に在学中1回以上参加する
- 英語プレゼンテーション教育 **科目リスト**
 - 所属する学院が指定するアカデミックプレゼンテーション関係の教育プログラムに在学中1回以上参加する

“所属する学院が指定する” => フェロシップガイドや科目リストを参照

学修プログラム（２） - キャリアパス支援、その他 -

- コンソーシアムを通じたキャリアパス形成（在学中にどちらか1回以上）
 - 蔵前工業会（本学同窓会）における「Dr's K-meet」に参加する
 - 所属する学院が主催するキャリアフォーラム等に参加する
- 研究インターンシップ（在学中にどちらか1回以上）
 - 所属する学院が指定するインターンシップ関係の教育プログラムに参加する **科目リスト**
 - 博士フェローシップ事務局がインターンシップマッチング等に個別に対応する
- キャリア教育（在学中にどちらか1回以上）
 - 体系的なキャリア教育科目を履修する **科目リスト**
 - 実践AIデータサイエンスA~Cを履修する **科目リスト**
- 博士課程の魅力発信
 - 系・コース・研究室などで開催するセミナー等で修士課程以下の学生に対し博士課程における研究活動の魅力を年に1回以上発信

フェローシップ制度や学修プログラムの設計・運用、フェローシップ採
択学生の選考を行う

委員長	情報理工学院	教授	三宅美博
	理学院	教授	河野正規
	工学院	教授	山口雅浩
	物質理工学院	教授	北本仁孝
	生命理工学院	教授	伊藤武彦
	環境・社会理工学院	教授	木内 豪
外部委員	葺前工業会	理事	藤田玲子

事務からのサポート

- 問い合わせ先（いつでもご連絡ください）
 - 高度人材育成博士フェローシップ事務（織田、川井）
 - cps2.f.app@jim.titech.ac.jp
 - 内線 7649

- 不定期にご案内メールをお送りします

例)

(フェローシップ事務局からのご案内/message from fellowship office)卓越教育院とDr's K-meetの情報

(English message follows.)

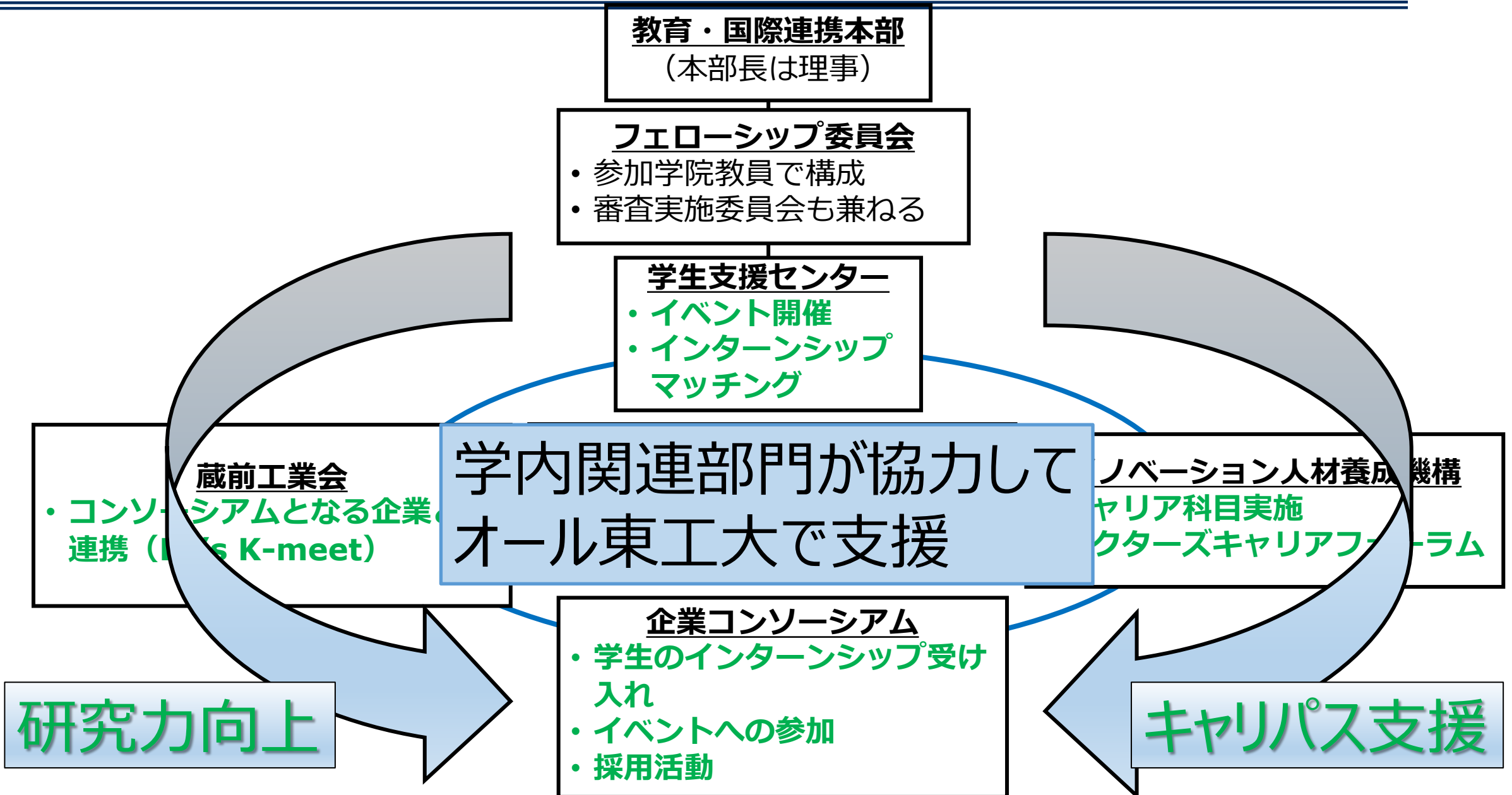
(bcc: でお送りしております)

フェローシップ学生の皆様、お世話になっております。フェローシップ事務織田です。

フェローシップの学修プログラムでは、「コンソーシアムを通じた研究力向上」のため幾つかの学院において卓越教育院のイベントへの参加を求めています。以下に現時点でわかっている卓越教育院のイベント情報をお知らせします。また、蔵前工業会主催のDr's K-meetについてもお知らせします。

...

大学のサポート体制





Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

殻を破るぞ！

越境型理工系博士人材育成プロジェクト

岩澤 伸治 / Nobuharu Iwasawa

事業統括補佐 教育本部 特任教授

越境型理工系博士人材

高度専門力(specialized skill)をベースに

異分野の知性と協働できる

汎用力(transferable skill)を兼備した人材

“越境型”に込めた意味

自分の殻を破る

専門を武器に
研究室を飛び出し自己研鑽

専門の壁を破る

異分野と協働し
汎用力を向上

社会変革に貢献し、自身のキャリア選択を広げる



学外研鑽 3か月以上

海外派遣

国内企業・学術機関での研究

インターンシップ



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

殻を破るぞ！

越境型理工系博士人材育成プロジェクト

上里 真理子 / Mariko Agari

学務部 教育プログラム推進室

費目	概要	支給対象	支給額
a. 研究奨励費	生活費相当額として、口座に毎月振込。使途不問。	全員	年額180万円 (月額15万円)
b. 研究費	研究に必要な経費であれば、費目不問。	全員	年額40万円
c. 次世代研究者 挑戦的研究プラス (次世代プラス)	特に挑戦的・融合的な研究に対する研究費追加支援。	申請書のうち 合格者のみ	年額最大 70万円
d. 学外研鑽プラス	学外研鑽に対する旅費追加支援。	申請書のうち 合格者のみ	学生により 異なる

※2022年度秋採用の学生は、2022年度及び2025年度はa、bが半額となります。（3年間の支給総額は春採用者と同じです）

※a～dはすべて併給可能です。

※b～cは、本学規程に従って執行管理し、使用期限は各年度限りです。繰り越しはできず、未使用分は返還対象となります。

支給イメージ



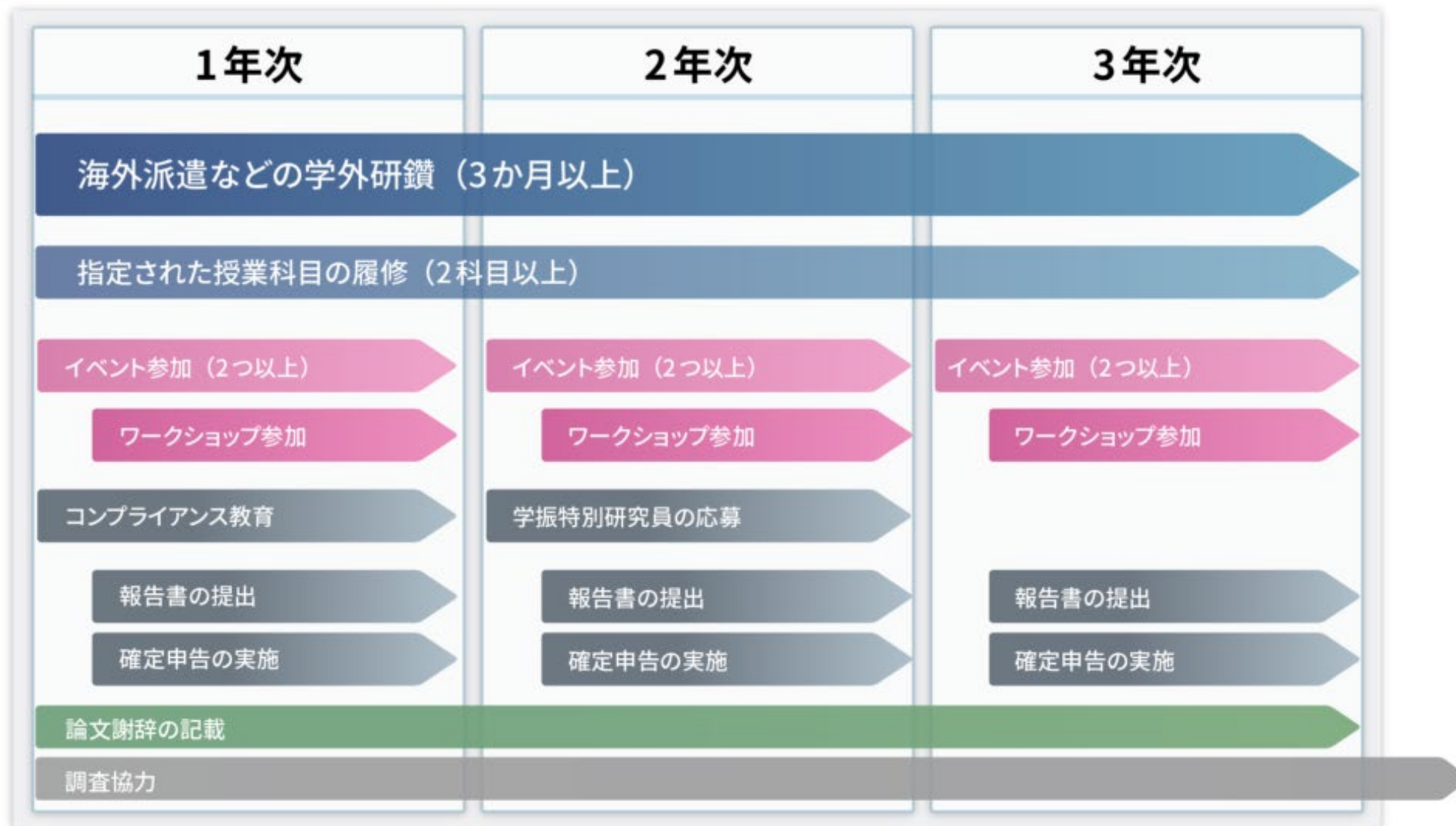
学外研鑽プラス ※1, 2		70万円 アメリカ3か月	40万円 シンガポール1か月	
次世代プラス ※1, 2	年額70万円			年額50万円
研究費 ※1	年額40万円	年額40万円	年額40万円	
研究奨励費	月額15万円 × 12か月 × 3年間			
	入進学	2年次	3年次	修了



学外研鑽プラス ※1, 2		120万円 オランダ8か月		
次世代プラス ※1, 2	年額70万円	年額20万円	年額70万円	
研究費 ※1	年額40万円	年額40万円	年額40万円	
研究奨励費	月額15万円 × 12か月 × 3年間			
	入進学	2年次	3年次	修了

※1 本学規程に従って執行管理し、使用期限は各年度限りです。繰り越しはできず、未使用分は返還対象となります。

※2 学外研鑽プラス、次世代プラスの支給額はあくまで一例です。実際は審査により決定いたします。



	対象者	対象外	採用予定数
2022年度 秋採用	<p>2022年9月に本学博士後期課程へ入学・進学する者</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症対策で来日できておらず、2022年度春採用の申請資格を満たせなかった2022年4月入学・進学者に限り、2022年度秋採用への申請を認めます。</p>	<p>a. 併給不可の奨学金等受給予定者（申請中の者は応募可。採用されたら本プロジェクトを辞退）</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本学術振興会特別研究員 国費外国人留学生 外国政府派遣留学生など <p>b. 大学推薦の申請者・内定者</p>	15名 (予定)
2023年度 春採用	<p>2023年4月に本学博士後期課程へ入学・進学を希望する者</p> <p>※ 外部入学・内部進学問わず、2023年4月に入学・進学されない場合は採用取消となります。</p>	<p>c. 年間240万円以上の安定的な収入を得ている者</p> <p>d. 休学予定者</p> <p>※詳細は募集要項を必ずご確認ください</p>	43名 (予定)

※ 越境型理工系博士人材育成プロジェクトでは、2023年度秋採用以降の採用予定はありません。

	審査対象	審査内容	審査期間
1次選考 (書類審査)	申請者全員	申請書 成績証明書	10月
2次選考 (面接審査)	1次選考で 合格・不合格が 決まらない方 (対象者のみ連絡)	発表 質疑応答 (Zoom)	以下のいずれか10分程度 11月1日 (火) 18-20時 11月2日 (水) 18-20時 11月7日 (月) 18-20時 ※原則、指定時間の変更は認めません

※ 一次選考結果を事前に公表することはありません。すべての選考が終了した後に、合格者のみ掲載します。



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

申請方法（共通）

上里 真理子 / Mariko Agari

学務部 教育プログラム推進室

申請について

	2022年度秋採用		2023年度春採用	
	フェロー	越境型	フェロー	越境型
Step.1 募集要項	独自 公開中	独自 公開中	独自 公開中	独自 公開中
Step.2 WEB申請	【共通】フォーム 9/30(金) 正午×切		【共通】フォーム 9/30 (金)正午×切	
Step.3 書類申請	【共通】書類・提出先 9/30 (金)正午×切 申請書・成績証明書 振込依頼書・通帳コピー		【共通】書類・提出先 9/30 (金)正午×切 申請書・成績証明書	

	2022年度秋採用		2023年度春採用	
	フェロー	越境型	フェロー	越境型
Step.4 審査	書面審査 合議審査 10月-11月上旬	1次選考 10月中 2次選考 11/1(火)、 2(水)、7(月) 18:00-20:00	書面審査 合議審査 10月-11月上旬	1次選考 10月中 2次選考 11/1(火)、 2(水)、7(月) 18:00-20:00

	2022年度秋採用		2023年度春採用	
	フェロー	越境型	フェロー	越境型
Step.5 合格者発表	HP掲載 11/14(月)正午	HP掲載 11/14(月)正午	HP掲載 11/14(月)正午	HP掲載 11/14(月)正午
Step.6 補欠連絡	メール/電話 11/14(月)-16(水)	メール/電話 11/14(月)-16(水)	メール/電話 随時	メール/電話 随時
Step.7 採択者発表	HP掲載 11/17(木)	HP掲載 11/17(木)	HP掲載 4/7(金)予定	HP掲載 4/7(金)予定